

石川町教育委員会点検・評価表
(平成29年度施策・事業)

平成30年8月
石川町教育委員会

点検・評価表目次

(総務領域)

- 1 教育委員会会議の実施状況
- 2 教育委員の活動状況
- 3 学校統合の推進
- 4 施設設備・学習環境の整備充実
- 5 野木沢小学校校舎耐震補強・大規模改造事業（施設設備・学習環境の整備充実）

(学校教育領域)

- 6 教師の指導力の向上と確かな学力の育成
 - (1) 学力向上推進事業の推進
- 7 教師の指導力の向上と確かな学力の育成
 - (2) 「いしかわ交流・連携」の推進
- 8 情報化教育と国際理解教育の推進
 - I C T機器の活用と英語教育の推進

(生涯学習領域)

- 9 青少年活動の推進
 - 放課後児童対策事業（放課後子ども教室）
- 10 生涯学習機会の充実、社会教育の充実
 - 生涯学習（各自治センター）への支援
 - 公民館事業の推進
- 11 公民館図書利用の促進

(文化振興領域)

- 12 文化財の保護・活用と愛護思想の高揚
 - 文化財普及活動（埋蔵文化財出前体験学習事業）

(体育振興領域)

- 13 スポーツの振興
- 14 社会体育施設の整備

(歴史民俗資料館)

- 15 鉾物、歴史民俗資料の公開、教育普及活動、調査研究の推進

平成 30 年度教育委員会点検・評価表（平成 29 年度事業実施状況）

	分 野	その他
	担 当 係	総務係

1. 点検・評価項目	教育委員会会議の実施状況
------------	--------------

2. 事業の目的と概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「石川町教育委員会会議規則」に基づき会議等を開催し、学校教育、社会教育、文化・スポーツの振興など主要な教育施策の確立、変更及び実施などの役割を担っている。

平成29年度目標値 定例会 12回

3. 平成 29 年度の事業実施状況

	項 目	教育委員会の会議	平成 29 年度
ア	開 催 数	定 例 会	12回（毎月1回）
		臨 時 会	1回
イ	審 議 事 項	協 議 事 項	10件
		報 告 事 項	48件

◇主な協議事項

- ・要保護・準要保護児童生徒追加、変更認定の承認について
- ・平成30年度使用教科用図書採択について
- ・石川町教育委員会点検・評価について（平成28年度事業）
- ・石川町教育委員会教育長職務代理者の指名について
- ・平成30年度石川町奨学資金貸与予約者の選考について

（決算額： 1, 212千円）

4. 前年度 平成 28 年度の状況

	項 目	教育委員会の会議	平成 28 年度
ア	開 催 数	定 例 会	12回（毎月1回）
		臨 時 会	0回
イ	審 議 事 項	協 議 事 項	13件
		報 告 事 項	43件

（決算額： 1, 235千円）

5. 事業の効果

- ① 定期的に委員会を開催し、各委員の合議により運営されている。
- ② 委員会では、懸案事項、重要案件などについて研究し、議論を活発に行い意見の交換を行っている。

6. 課題と改善

今後においても、教育を取り巻く課題に対応した施策の推進などに向け、十分な審議を行うとともに、教育現場である学校や社会教育施設などへの訪問活動や各種行事への参加などを充実させながら、積極的に教育行政を推進していく必要がある。

平成 30 年度教育委員会点検・評価表（平成 29 年度事業実施状況）

分 野		その他						
担 当 係		総務係						
1. 点検・評価項目	教育委員の活動状況							
2. 事業の目的と概要								
<p>① 学校など教育委員会所管施設を視察し、運営状況を把握する。 各種主催行事へ積極的に参加し、地域住民の多様な意見の反映に努める。</p> <p>② 委員としての専門的知識を高めるため、課題研究を計画的に行うとともに、他町村の教育委員との研修等により自己研鑽に努める。</p>								
<p>平成29年度の目標値</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">・学校訪問</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">2回</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>・研修会</td> <td style="text-align: center;">1回</td> <td></td> </tr> </table>			・学校訪問	2回		・研修会	1回	
・学校訪問	2回							
・研修会	1回							
3. 平成29年度の事業実施状況								
<p>① 学校視察及び教職員との懇談 石川中学校（7月）、沢田小学校（11月）</p> <p>② 研修会等 教育委員・教育長研修会（8月 福島市） 内容：講演①「新学習指導要領策定の経過と期待」 文部科学省大臣官房教育改革調査官 平野 誠 氏 講演②「道徳教育の抜本的改善・充実と新教科道徳に期待されること」 武庫川女子大学 教育研究所 大学院臨床教育学研究科教授 押谷 由夫 氏 県中ブロック研修会（9月 須賀川市） 内容：ふくしま森の科学体験センター（ムシテックワールド）施設見学</p> <p>③ 新任教育委員研修（11月 福島市） 新教育委員1名受講</p> <p>④ 教育委員会主催行事等への積極的参加 主な参加行事：各小学校運動会、学習発表会、小中学校入学式・卒業式、少年の主張大会、各地区文化祭など (決算額： 0千円)</p>								
4. 前年度 平成28年度の状況								
<p>① 学校視察及び教職員との懇談 石川小学校（7月）、野木沢小学校（11月）</p> <p>② 研修会 県中ブロック研修会（7月 郡山市） 講演：「郡山市におけるICT教育について」等 教育委員・教育長研修会（8月 福島市）講演「新教育委員会制度に期待すること」等</p> <p>③ 新任教育委員研修（11月 福島市） 新教育委員2名受講</p> <p>④ 教育委員会主催行事への積極的参加 (決算額： 0千円)</p>								
5. 事業の効果								
<p>① 移動教育委員会で学校を訪問し、授業内容等についての点検を行っている。</p> <p>② 教職員との懇談を通して、教育現場の現状把握に努めている。</p> <p>③ 各種社会教育関係行事に積極的に参加し、本町が行う社会教育事業の現状把握に努めている。</p>								
6. 課題と改善								
研修会等に積極的に参加し教育委員としての見識を高め、本町教育行政の課題解決に努める。								

平成 30 年度教育委員会点検・評価表（平成 29 年度事業実施状況）

分 野	学校教育の充実
担当係	総務係

1. 点検・評価項目	学校統合の推進
2. 事業の目的と概要	<p>新石川小学校（統合）の施設整備を中心とした教育環境の早期整備を図るため、校庭や学校周辺の整備等を進める。</p> <p>（平成29年度目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭整備工事の完了 ・校庭外周整備工事の完了
3. 平成29年度の事業実施状況	<p>新石川小学校校庭整備工事、校庭外周整備工事、屋外遊具（鉄棒・雲梯・登り棒）設置工事、校庭階段設置工事、校庭スロープ設置工事、砂場設置工事、校旗ポール設置工事など</p> <p>（決算額：32,732千円）</p>
4. 前年度 平成28年度の状況	<p>①石川小学校屋内運動場竣工式の挙行 とき：平成29年3月1日（水）午後1時10分～ ところ：石川小学校クリスタルホール 参加者：来賓、石川小合奏合唱部など100名</p> <p>②新石川小学校屋内運動場設計監理委託費、石川小学校南東斜面擁壁工事、石川小学校西側防球ネット設置工事、新石川小学校屋内運動場建築工事（繰越）など</p> <p>（決算額：235,589千円）</p>
5. 事業の効果	<p>新石川小学校校庭整備工事、外周整備工事が完了し校庭の状況改善に努めたほか、屋外遊具の一部を設置し、外遊びによる児童の体力向上を図ることができた。</p>
6. 課題と改善	<p>計画している屋外遊具設置の早期完成に務める。</p>

平成 30 年度教育委員会点検・評価表（平成 29 年度事業実施状況）

分 野	学校教育の充実
担 当 係	総務係

1. 点検・評価項目	施設設備・学習環境の整備充実
2. 事業の目的と概要	<p>小学校3校、中学校1校の校舎等の施設の修繕、工事及び教育機器の保守整備。 平成29年度の目標値 安全安心な学校施設の整備推進と学習環境の改善</p>
3. 平成29年度の事業実施状況	<p>①工事・修繕 ・小学校（修繕36件 工事24件） ・中学校（修繕18件 工事11件） 主な事業 石川小（法面復旧工事） 沢田小（プール槽改修工事） 野木沢小（浄化槽改修工事） 石川中（進入路改修工事、武道場解体工事） （決算額：48,652千円）</p> <p>②野木沢小学校耐震補強・大規模改造事業 ・第Ⅱ期工事（決算額：158,471千円）</p> <p>③石川中学校調理場建設事業 ・実施設計策定業務、監督員補助業務（決算額：7,442千円）</p> <p>④通学援助事業 ・専用バスの運行委託料（7路線324人） ・路線バス運賃（4路線121人） （決算額：99,784千円）</p> <p>⑤給食費補助事業 ・小学校給食費補助金（交付児童691人 決算額：16,445千円） ・中学校給食費補助金（交付生徒407人 決算額：10,301千円）</p>
4. 前年度 平成28年度の状況	<p>①工事・修繕 小学校（修繕23件 工事18件） 中学校（修繕 5件 工事 7件） （決算額：16,279千円）</p> <p>②野木沢小学校校舎耐震補強・大規模改造事業第Ⅰ期工事（決算額：135,696千円）</p> <p>③石川中学校調理場建設事業 ・地質調査業務、基本構想・基本設計策定業務（決算額：8,564千円）</p> <p>④通学援助事業 ・専用バスの運行委託料（7路線331人） ・路線バス運賃（4路線111人） （決算額：97,224千円）</p> <p>⑤給食費補助事業 ・小学校給食費補助金（交付児童671人 決算額：16,928千円） ・中学校給食費補助金（交付生徒370人 決算額：10,032千円）</p>
5. 事業の効果	<p>既存校舎等の老朽化に伴う破損箇所等の修繕・工事を迅速に行うとともに、耐震補強・大規模改造工事を完成させ、施設の安全性の向上及び児童生徒の学習環境の改善に努めた。</p>
6. 課題と改善	<p>学校施設長寿命化計画を策定し、執行予算の平準化を図りながら計画的な施設整備に努める。</p>

平成 30 年度教育委員会点検・評価表（平成 29 年度事業実施状況）

分 野	学校教育の充実
担 当 係	総務係

1. 点検・評価項目	野木沢小学校校舎耐震補強・大規模改造事業（施設設備・学習環境の整備充実）
2. 事業の目的と概要	<p>昭和56年以前に建築され、構造耐震指標 Is 値が0.7未満である野木沢小学校校舎の耐震補強工事を行い耐震性の向上を図るとともに、老朽化した施設、設備等の大規模改造工事を行い学習環境の改善を図る。</p> <p>平成29年度の目標値 耐震補強・大規模改造工事の完成</p>
3. 事業の実施状況	<p>(1) 野木沢小学校校舎の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築年： 昭和54年 ・ 面 積： 1,969.64㎡ ・ 構造等： 鉄筋コンクリート造 3階建て <p>(2) 野木沢小学校校舎の耐震状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震診断： 平成23年度に実施 ・ 診断結果： Is 値 0.535 ※Is 値（建物の耐震性能を表す指標） （Is 値0.6未満は大地震に対して倒壊等の危険性があるとされており、補強後の Is 値が0.7となることを求められている。） <p>(3) 耐震補強・大規模改造工事の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工 期： 平成28年11月～平成30年2月（28年度： I 期工事 29年度： II 期工事） ・ 耐震補強工事 <ul style="list-style-type: none"> 鉄骨ブレース設置工事 4箇所（一階と2階に2箇所ずつ） 耐震スリット設置工事 1箇所（一階に一箇所） ・ 大規模改造工事 <ul style="list-style-type: none"> 普通教室、特別教室の壁、天井、間仕切、黒板、建具等の新設 パソコン室、音楽室にエアコン新設 トイレの洋式化、多目的化 照明のLED化 外壁塗装の全面改修 一部陸屋根の防水改修 放送設備、受水槽、消火設備更新 ・ 総事業費： 294,167千円 （内訳： 国庫補助金 93,591千円、町債 93,800千円、一般財源 106,776千円）
4. 達成状況	<p>(1) 耐震補強工事 平成28年度・29年度の計画期間内に完成し、目標どおり耐震化を図ることができた。 なお、平成29年度に野木沢小学校校舎耐震補強工事、石川中学校武道場解体工事が完成したことにより、町内学校施設の耐震化率は100%となった。</p> <p>(2) 大規模改造工事 耐震補強工事に併せて老朽化した校舎内外の改修を行い、学習環境の改善を図ることができた。</p>
5. 課題と改善	<p>学校施設長寿命化計画を策定し、執行予算の平準化を図りながら計画的な施設整備に努める。</p>

平成 30 年度教育委員会点検・評価表（平成 29 年度事業実施状況）

	分 野
	学校教育の充実
	担 当 係
	学校教育係
1 点検・評価項目	教師の指導力の向上と確かな学力の育成 (1) 学力向上推進事業の推進
2 事業の目的と概要	目標 教師の指導力の向上と石川町の児童生徒の学力の向上を目的に、小・中学校の交流・連携と家庭との連携の手立てを構築・実践する。 事業概要 (1) 「いしかわ交流・連携事業」を関連付けながら、学力向上に関わる各事業の充実に向けた会議の開催と連絡調整、事業成果の確認・波及・浸透を図る。 (2) 学力調査等の結果を分析・考察し、本町としての課題を明らかにして、その解決のために教育委員会で効果的な対策を講じる。
3 平成 29 年度の事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上推進会議を 2 回、学力向上推進部会を 4 回開催し、町の学力向上の方針と各学校の現職教育の連携を図った。小中学校の連携授業研究会を 6 回、石川小、石川中の研究公開を実施し、学習内容の系統的な研究と学習スタイルの統一を図った。 ・ 各学校での授業研修会のはべ 35 回開催され、それぞれの事後研究会で「学び合い」の成果と課題について協議した。 ・ 夏季休業中に「石川町教育ゼミナール」（教員研修会）を 2 日間実施し、町内外から延べ 107 名の教員が参加して授業力の向上を目指して研修を積んだ。 ・ 「いしかわのじかん」の趣旨を踏まえ、学校と P T A が協力して児童生徒の家庭学習や読書の時間の増加を図った。 ・ 町内全児童生徒への教研式学力調査（N R T）の実施により、児童生徒の学力の実態把握を進めた。 （決算額：1, 892 千円）
4 前年度 平成 28 年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上推進委員会会議 2 回、学力向上推進部会 4 回を実施し、授業研究会における授業力向上に努めた。 ・ 夏季休業中に「石川町教育ゼミナール」（教員研修会）を 2 日間実施し、町内外から延べ 60 名の教員が参加して授業力の向上を目指して研修を積んだ。 ・ 各学校での授業研修会で「学び合い」学習の成果と課題について協議、検討した。 ・ 「いしかわのじかん」の設定と家庭での日常生活における家庭学習、読書等を推進した。 （決算額：1, 706 千円）
5. 事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の小中学校の教員が集まり研修できる場を多く設けたことで、大学の教育理論を現場の教育実践に取り入れた授業スタイルの統一化が図られ、「学び合い」を授業の基本スタイルとして、町内の小中学校で統一した授業実践を行うことができた。 ・ 年間 6 回の小中連携授業研究会をはじめ、石川小、石川中の研究公開が充実し、教師の意識、指導力の向上、児童生徒の意識、学力向上につながっている。 ・ 教研式学力調査（N R T）による児童生徒の学力の実態把握から、陥没領域や内容を確実に捉え、指導の重点化に取り組むことができた。
6 課題と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校の授業研修会において、学力向上の課題を共有することができた。今後、各校の実践をもとに情報交換ができる機会を設けていきたい。 ・ 新学習指導要領に向けた教育課程編成の方向性を検討していきたい。 ・ 児童生徒の「学びの習慣」の確立のため、家庭学習との連携を図った実践を継続的に進めるため、各校の取り組みを情報交換しながら工夫していきたい。

平成 30 年度教育委員会点検・評価表（平成 29 年度事業実施状況）

		分 野	学校教育の充実
		担 当 係	学校教育係
1 点検・評価項目	教師の指導力の向上と確かな学力の育成 (2) 「いしかわ交流・連携」の推進		
2 事業の目的と概要	<p>目標 児童生徒の人間関係づくりを行うことにより、人間関係による不安や幼保小間、小中間の進級に関する不安の解消を目指す。</p> <p>事業概要 学力向上推進事業と関連付けながら、「いしかわ交流・連携事業」による諸事業を推進し、児童生徒の望ましい人間関係づくりを行う。</p>		
3 平成29年度の事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 6年生合同交流会（フライデーコネクション）や特別支援学級交流会を定期的を実施し、目的をもって、できるだけ多くの他者と交流することができるように実施することができた。 不登校児童生徒数（30年3月末） 小学生3名 中学生22名 担任、生徒指導担当の家庭訪問や教育相談等、不登校解消へ向けた具体的な取り組みを推進した。学校でのケース会議の開催、スクールカウンセラーによる相談、登校支援の確立、スクールソーシャルワーカー等関係機関との連携を行い、不登校の解消に向けて努力した。 心豊かな人間関係づくりを目指し、町内各学校間の児童生徒の連携・交流学习を積極的に進めた。 「いしかわふるさと教育」を推進し、地域教材を通して地域を理解し、地域に貢献できる人材の育成を図った。また、小学校社会科補助教材「わたしたちの石川町」（タブレット）の活用について演習を行い、各校の積極的な活用を推進した。 特別支援教育に関する協議会の開催により、各小中学校、保育所、幼稚園、社会福祉、児童福祉、教育委員会が共通理解をもって連携しながら特別支援教育を進めることができた。 生涯教育に通じる勤労観や職業観等の意識を児童生徒に育てるため、キャリア教育を進めた。 <p>（決算額：1,510千円）</p>		
4 前年度 平成28年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> 中学校進学に向け、6年生合同交流会（フライデーコネクション）や特別支援学級交流会を実施した。 不登校児童生徒数（平成29年3月末） 小学生3名 中学生18名 心豊かな人間関係づくりを目指し、町内各学校間の児童生徒の連携・交流学习を積極的に進めた。 「いしかわふるさと教育」を推進し、地域を理解し、地域に貢献できる人材の育成を図った。 「特別支援教育の理念」に基づく児童生徒理解と具体的な指導支援を進めた。 生涯教育に通じる勤労観や職業観等の意識を児童生徒に育てるため、キャリア教育を進めた。 <p>（決算額：6,866千円）</p>		
5 事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> 各種交流活動により、交流が深まり、学校の枠を越え、互いを大切にしながら行動できるようになった。 「わたしたちの石川町」（タブレット）の活用が積極的に行われた。 町特別支援教育協議会により、町内各学校、各保育所・児童館、幼稚園に在籍している個別支援が必要な児童生徒に関する情報を共有することができ、さらに石川支援学校の助言をいただくことで、就学や進学に向けて連携した支援できるようになってきた。 		
6 課題と改善	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒に対する指導・支援の充実や保護者との協力体制の構築を目指し、カウンセラーや関係機関との連携を図りながら、具体的な方法について検討していく必要がある。 「わたしたちの石川町」の活用推進を図る研修の場を今後も設定し、ふるさとを知り、ふるさとに貢献できる人材の育成を目指した「いしかわふるさと教育」をさらに推進していきたい。 		

平成 30 年度教育委員会点検・評価表（平成 29 年度事業実施状況）

	分 野	学校教育の充実
	担当係	学校教育係
1 点検・評価項目	情報化教育と国際理解教育の推進 ICT機器の活用と英語教育の推進	
2 事業の目的と概要	<p>目標</p> <p>(1) ICT機器を積極的に活用し、より学習効果を上げる。</p> <p>(2) 小学校から中学校の9年間を見通した英語教育を推進し、児童の国際感覚を養うと共に中学生の英語の語学力を向上させる。</p> <p>事業概要</p> <p>(1) ICT機器のメリットを生かし、学習活動の充実のために積極的な活用を図る。</p> <p>(2) 小学校、中学校を中心に英語指導助手を配置し、多様な教育活動を展開することで、国際社会の理解を深め、コミュニケーション能力の育成を図る。また、小学校における「英語教育」の充実のために、小学校教員による英語指導の研修機会の確保に努め、英語指導力の向上を図る。</p>	
3 平成29年度の事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な授業でのコンピュータやタブレットの活用を進めた。 ・ ICT機器の取扱いに関する研修を各学校毎に進めた。 ・ 英語指導助手の効果的な活用を図った。 英語指導助手派遣日数 小：197日 中：193日（含：保育所等22日） ・ 年間4回の国際理解推進会議では、小中学校教員が合同での授業研究会を実施したり、新指導要領の実施に向けた研修を行った。 ・ 国際理解教育（小学校1～4年）の年間指導計画の作成を行い、25年度より各学年12時間の国際理解教育を実施している。 ・ 小学校6年生全員により一泊二日の「英国文化体験教室」をブリティッシュ・ヒルズで実施した。 ・ タブレット端末120台と周辺機器を購入及び借り上げし、授業で活用できるようにした。 （決算額：18,425千円） 	
4 前年度 平成28年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な授業でのコンピュータの活用や電子黒板の活用を進めた。 ・ ICT機器を活用した研究授業、研修会：2回 ・ 小・中学校等への英語指導助手派遣日数 小：204日 中：184日（含：保育所等20日） ・ 小中学校教員が合同で行う授業研究会（国際理解推進会議）を年間4回実施した。 ・ 英国文化体験教室（7/5～7/6）…参加者 小学生6年生99名（決算額2,627千円） （決算額：23,194千円） 	
5 事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容や活動の場面に応じて、タブレットやデジタル教科書を活用する授業が多くなってきた。 ・ 国際理解教育年間指導計画の作成により、町内小学校の英語の学習内容の共通化が図られた。 ・ 英語指導助手の手作り教材や個別の授業プログラムにより、多くの児童生徒が英語に対する興味・関心を高め、興味深く活動する姿が多く見られた。 ・ 「英国文化体験教室」で英会話や英語を通じたゲーム、エチケット・マナーを学習することにより、外国語に対する理解を深め、同時に他校との交流を通して、児童の社会性や個性の伸長を図ることができた。 	
6 課題と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新学習指導要領の実施に向け各学校の英語・外国語学習の教育課程を編成していく必要がある。 ・ 小中学校ともイングリッシュルームの設定やオールイングリッシュの授業の実施をさらに検討する必要がある。 ・ 授業におけるタブレット端末の活用を促進できるように研修の場を設けていく。 	

平成 30 年度教育委員会点検・評価表（平成 29 年度事業実施状況）

	分 野
	青少年の健全育成
	担 当 係
	生涯学習係
1. 点検・評価項目	青少年活動の推進 放課後児童対策事業（放課後子ども教室）
2. 事業の目的と概要	<p>地域の人々の協力を得て、安全・安心な居場所と豊かな体験活動機会を提供し、青少年の健やかな環境づくりを推進することを目的とする。</p> <p>沢田小と野木沢小の1年生から3年生を対象に、週2回程度、放課後の1時間程度を利用し、読み聞かせ、紙芝居、軽スポーツ、レクリエーション、料理教室などの体験活動を提供した。</p>
3. 平成29年度の事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沢田子ども教室 水・木曜日 14時40分～15時30分 43名 53回開催（参加率79%） ・ 野木沢子ども教室 火・水曜日 15時10分～16時10分 41名 44回開催（参加率90%） ・ 子ども教室関係者による打合せ会議 3回開催 （決算額： 2,004 千円）
4. 前年度 平成28年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沢田子ども教室 46名 50回開催（参加率81%） ・ 野木沢子ども教室 38名 49回開催（参加率89%） ・ 安全管理員 2名、活動指導員 29名 計31名 （決算額： 1,222 千円）
5. 事業の効果	<p>放課後の子ども達の安全・安心な活動拠点（居場所）として、地域の方々の参画を得ながら、読み聞かせ等の読書活動やペットボトルロケット、野菜づくり等の様々な体験教室を提供し、子どもたちと地域ボランティアの方々との交流、そして異学年の子ども達の交流の場として提供することができた。</p>
6. 課題と改善	<p>平成27年度からコーディネーター1名を雇用し、開催数を週2回に増加して実施している。</p> <p>平成29年度からコーディネーターを2名に増員をはかり、それぞれの教室における各種事業メニューを充実させた。</p> <p>課題としては活動指導員などの新たなボランティア人材の確保があげられる。</p>

平成 30 年度教育委員会点検・評価表（平成 29 年度事業実施状況）

	分 野	生涯学習の充実
	担 当 係	生涯学習係
1. 点検・評価項目	生涯学習機会の充実、社会教育の充実 生涯学習（各自治センター）への支援 公民館事業の推進	
2. 事業の目的と概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治センター等で行っている生涯学習活動を支援し、地域の教育力の向上に努める。 地域の実情に即し、各自治センターで取り組んでいる各種教室（生涯学習講座）への講師派遣や助言、または資料の提供など。 ・現代的な課題、青少年や一般成人など世代に応じた各種教室・講座等を開設する。 青少年を対象とした「ぼくもわたしもチャレンジャー」、成人を対象とした「生き生きライフ講座」を開設し、それぞれに応じた多様なメニューを採り入れて実施する。 	
3. 平成29年度の事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の内容に応じた講師の選定及び派遣等への助言、生涯学習に関連する資料提供など ・ぼくもわたしもチャレンジャー 実施回数7回 延べ116名 勾玉づくり、角田市との交流（鮎物採取、はやぶさ祭り）、サイエンス教室、工場視察見学 縄文人になろう、料理教室 など ・生き生きライフ講座 実施回数7回 延べ91名 美術鑑賞、アロマ、リズム体操、異国文化を学ぶ 等 ・成人向け講座【昼・夜各8回開催】骨盤ヨガ教室 (決算額：85 千円) 	
4. 前年度 平成28年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年や一般成人などを対象とした教室の開設 ぼくもわたしもチャレンジャー 実施回数7回 延べ229名 生き生きライフ講座 実施回数7回 延べ74名 (決算額：85 千円) ・生涯学習講演会 平成29年3月18日実施 235 千円 	
5. 事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治センターで有している生涯学習関連の情報等には限界があるため、情報等を有する部署からの提供や助言等は欠かせない。少なからず教室運営等に反映されているものと思われる。 ・ぼくもわたしもチャレンジャーについては、様々な体験活動や交流を通して、故郷・石川を愛する心が育まれたものと思われる。 ・生き生きライフ講座については、受講者の意見を取り入れるなど、多様なメニューを展開することができた。 ・昼、夜各8回開催した成人教室が好評のため、自主サークルとして活動するようになった。 	
6. 課題と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・一部指摘を受けている社会教育事業の弱さについて、社会教育指導員を各自治センター等に定期的に巡回し相談や応援ができる体制をつくる。 ・住民ニーズの把握、行政として提供すべき学習課題などを検討し、各種学級講座の開設に努めたい。 	

平成 30 年度教育委員会点検・評価表（平成 29 年度事業実施状況）

分 野	公民館図書室事業の充実
担 当 係	公民館

1. 点検・評価項目	公民館図書利用の促進
2. 事業の目的と概要	<p>図書の充実を図り、多くの町民に図書利用を促進し、文化の向上に資する。</p> <p>①公民館図書の充実と有効活用・・・図書購入、図書システムの導入 ②子ども図書事業の推進・・・「みんなおいでよたのしい絵本」の定期開催 ③図書関連事業の推進・・・絵本に関する講演会、絵本の各保育所等団体貸出による有効活用 ④図書室利用者の促進・・・町ホームページでの新刊図書等の情報提供</p>
3. 平成29年度の事業実施状況	<p>①図書の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書購入 437冊（内訳 一般図書 197冊 児童図書 240冊） ・寄贈図書 260冊（内訳 一般図書 247冊 児童図書 13冊） ・リサイクルコーナーの利活用 ・移動図書（巡回図書）の活用 県立図書館「あづま号」年2回（1回につき約500冊借用） <p>②図書室利用 大人 4,095人、子ども 2,605人 合計 6,700人 ③貸出冊数 10,852冊（うち児童書 5,357冊） ④子ども図書事業「みんなおいでよたのしい絵本」月1回 年12回開催 （参加者数 136人） ⑤図書システムの導入</p> <p style="text-align: right;">（決算額：3,265千円）</p>
4. 前年度 平成28年度の事業実施状況	<p>①図書の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書購入 546冊（内訳 一般図書 216冊 児童図書 330冊） ・寄贈図書 177冊（内訳 一般図書 152冊 児童図書 25冊） ・リサイクルコーナーの利活用 ・移動図書（巡回図書）の活用 県立図書館「あづま号」年2回（1回につき約500冊借用） <p>②図書室利用 大人 3,012人、子ども 1,934人 合計 4,946人 ③貸出冊数 8,610冊（うち児童書 4,285冊） ④子ども図書事業「みんなおいでよたのしい絵本」月1回 年12回開催 （参加者数 143人） ⑤図書システムの導入</p> <p style="text-align: right;">（決算額：1,663千円）</p>
5. 事業の効果	<p>①平成25年度に策定した「子ども読書活動推進計画」に沿って事業を実施した。 ②子ども図書事業を12回開催し、親子での図書利用の場を提供した。 ③図書システムの導入により、図書の貸出や返却などの管理がスムーズとなり、利便性が図られた。 ④広報いしかわにより、図書日より発行、新刊図書のお知らせ等、図書室の情報を発信できた。</p>
6. 課題と改善	<p>①一般図書だけでなく幼児向けや児童図書を充実し、図書室の利用拡大に繋げたい。 ②図書ボランティアの育成（子ども図書事業や放課後子ども教室など） ③保育所や医療機関等への絵本の貸出などにより、図書の有効活用を図る。 ④新しい図書館に向け、年間を通し定期的に図書を購入し、蔵書数を増やしていく。</p>

平成 30 年度教育委員会点検・評価表 (平成 29 年度事業実施状況)

分野	文化の振興と文化遺産・鉾物の保存・活用
担当係	文化振興係

1. 点検・評価項目	文化財の保護・活用と愛護思想の高揚 文化財普及活動 (埋蔵文化財出前体験学習事業)
2. 事業の目的と概要	<p>歴史の学習や故郷の歴史を理解するため、埋蔵文化財出前体験学習事業を小中学校や一般成人を対象に行い、郷土教育や文化財保護の啓蒙を図る。</p> <p>小中学校については3コース (①出前授業、②連携 (職員・先生)、③史跡・文化財見学解説支援)、一般成人向けについては2コース (①自治センター等にて出前講座等の支援、②史跡・文化財見学解説支援) を開設する。</p> <p>平成29年度目標値：出前講座の拡充</p>
3. 平成29年度の事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校における埋蔵文化財出前体験学習事業 <ul style="list-style-type: none"> ① (6/23) 沢田小学校 6年 14名 史跡見学 (大壇古墳群など) ② (11/16) 石川小学校 6年 74名 史跡見学 (大壇古墳群など) ③ (11/28) 沢田小学校 6年 14名 史跡見学 (三芦城跡など) 一般成人向け <ul style="list-style-type: none"> ① (6/24) 加波山事件研究会 (茨城県筑西市) 14名 史跡見学 (鈴木家門など) <p>(決算額： 0 千円)</p>
4. 前年度 平成28年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校における埋蔵文化財出前体験学習事業 <ul style="list-style-type: none"> ① (4/27) 沢田小学校 6年 14名 史跡見学 (大壇古墳群など) ② (6/3) 野木沢小学校 6年 20名 出前授業「土器から石川町の歴史を知る」 ③ (10/28) 沢田小学校 6年 14名 史跡見学 (三芦城跡など) ④ (11/1) 石川小学校 6年生 93名 史跡見学 (大壇古墳群など) 一般成人向け <ul style="list-style-type: none"> ① (10/27) 福島市吾妻地区郷土史談会 30名 史跡巡り (石都々古和気神社の狛犬など) ② 藤田城址保存整備委員会への支援 冊子「藤田城史」刊行にあたっての支援 ※冊子は中野区民全戸配布 ③ 漫画「石川城物語り」刊行にあたっての支援 (石川自治センター) <p>(決算額： 0 千円)</p>
5. 事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> 学校を対象とした出前授業の効果として、普段の教育現場からでは得られない「見て・触れて・学ぶ」という学習効果に繋がったものと認識している。また、ふるさとを見直す契機や、ふるさとへの愛着と誇りを養うことにも繋がり、郷土教育の観点からも大変有効である。
6. 課題と改善	<ul style="list-style-type: none"> 小学校2校からの実施依頼があったものの、全ての小中学校からの要望とまでは行かなかった。特に、中学生向けのメニューについても見直し、単なる体験学習としてだけではなく、授業の一助として先生方との連携を深めていくなどの改善が必要である。

平成 30 年度教育委員会点検・評価表 (平成 29 年度事業実施状況)

	分 野	生涯学習の充実
	担 当 係	体育振興係
1. 点検・評価項目	スポーツの振興	
2. 事業の目的と概要	<p>健康でいきいきと生活出来るよう、生涯スポーツの振興を図るため、講習会等を行い社会体育指導者の育成と資質の向上に努めるとともに、青少年の健全育成と参加相互の交流を図り、生涯にわたってスポーツに親しむ基礎を築く。</p>	
3. 平成 29 年度の事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・石川町スポーツ推進委員会研修会 2 回・・・ニュースポーツ、救急救命法講習会 その他：ふくしま駅伝事業等協力事業の実施 ・石川さくらロードレース大会・・・4 月 8 日（土）午前 8 時 30 分スタート 小学 3 年生男女から中学 3 年生男女、親子の部、健康一般男女の部、総勢 552 名参加。 ・ふくしま駅伝大会に参加し、中・高校生・大学生・一般選手や監督・コーチなどが一致団結し、59 市町村中、総合 3 位、町の部 1 位と昨年に引き続き町の部連覇を達成。 ・学校施設開放事業 町内小・中学校体育施設開放 年間利用者数 17, 839 人 ・第 1 1 回市町村対抗福島県軟式野球大会・・・9 月 9 日開会し、石川町は一回戦大熊町と対戦し 4-1 で勝利。二回戦相馬市と対戦し 0-2 で敗退。 ・第 4 回市町村対抗福島県ソフトボール大会 10 月 14 日開会し石川町は一回戦大玉村に 0-7 で敗退。 ・平成 29 年全国高等学校総合体育大会自転車競技（ロード・レース）大会開催し、全国から 145 名の代表選手が、石川町・浅川町特設コースにて競技に参加した。 (決算額： 3, 903 千円) 	
4. 前年度 平成 28 年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員会研修会 2 回・・・救急救命法講習会など。 ・石川さくらロードレース大会・・・4 月 9 日に開会 532 名が参加。 ・石川町代表として市町村対抗福島県軟式野球大会（2 回戦敗退）・ソフトボール大会出場。（1 回戦敗退） ・学校施設開放事業。16, 571 人 (決算額： 3, 984 千円) 	
5. 事業の効果	<p>町スポーツ推進委員研修会を実施し、スポーツ推進委員が各地域への普及に務めた。救急救命講習会を継続してきたことでスポーツ推進委員が緊急時に対応できる技能が備わった。</p> <p>学校体育施設開放事業により、地域スポーツ・レクリエーション等、場の提供ができた。</p> <p>石川町代表として、市町村対抗軟式野球・ソフトボール大会に参加した。また、ふくしま駅伝大会では、町の部 2 連覇を達成した。</p>	
6. 課題と改善	<p>生涯スポーツの普及を推進するため、各地区から推薦されたスポーツ推進委員の指導により、楽しくニュースポーツを行うことを広め、多世代対応のニュースポーツを町内各地区での実施を進めることが、スポーツだけではなく、地域活性化の手段となると考えるが、ニュースポーツの道具を揃えるには、多額の予算が必要となるため、計画的に道具の購入を検討していく必要がある。</p> <p>また、競技スポーツ面では、特に児童・生徒のスポーツ離れに対し、小・中学校・町体育協会・スポーツ少年団と連携を図り、協力してスポーツの推進を図っていく。</p>	

平成 30 年度教育委員会点検・評価表（平成 29 年度事業実施状況）

	分 野
	生涯学習の充実
	担 当 係
	体育振興係
1. 点検・評価項目	社会体育施設の整備
2. 事業の目的と概要	<p>町民に良好なスポーツ活動の場を提供するため、町民グラウンド野球場をはじめ、武道館、温水プール、総合運動公園多目的広場、総合体育館、町体育館、町民テニスコート、旧石川小学校グラウンドの維持管理に努める。</p>
3. 平成29年度の事業実施状況	<p>下記社会体育施設維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川町総合運動公園外トイレウォシュレット取付工事 ・石川町総合体育館用モルテン製システムカウンター購入 ・石川町温水プールトップライト天井改修工事 ・石川町温水プール階段スラブ及び観覧席漏水修繕 ・石川町温水プール洋式便器設置工事 ・旧石川小学校体育館改修工事 ・石川町武道館LED照明取換 ほか <p>（決算額：106,105千円）</p>
4. 前年度 平成28年度の状況	<p>下記社会体育施設維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川町総合運動公園仮設トイレ設置工事 ・石川町総合体育館屋根防水改修工事 ・石川町総合体育館用モルテン製システムカウンター購入他維持管理 ・石川町温水プール天井改修工事 ・石川町温水プールフロア購入等、維持管理 <p>（決算額：67,623千円）</p>
5. 事業の効果	<p>社会体育施設の改修工事や修繕工事をするなど、施設の維持管理運営に務めた。</p>
6. 課題と改善	<p>現在の社会体育施設は、石川町総合体育館が築25年、石川町温水プールが築20年、石川町武道館が築32年など、各施設の老朽化が進んでおり、計画的な施設の改修を進めながら、施設の長寿命化をしていく必要があるが、老朽化施設が多く改修費等の関係でなかなか計画が進まない状況にある。</p> <p>しかし、施設利用者の安全や利便性を考え、施設の統廃合等を進めながら利用者が使いやすい施設の維持・管理を行う。</p> <p>また、総合運動公園内の体育施設整備など、町民のニーズに対応できる施設整備や建設計画も同時に進める必要がある。</p> <p>点在する施設が多くある中で、維持管理の体制整備を検討し、効率的に維持管理が出来るよう進めていく必要がある。</p>

平成 30 年度教育委員会点検・評価表（平成 29 年度事業実施状況）

	分 野	鉱物、歴史民俗資料の公開、調査研究
	担 当 係	歴史民俗資料館
1. 点検・評価項目	鉱物、歴史民俗資料の公開、教育普及活動、調査研究の推進	
2. 事業の目的と概要	<p>①「日本三大鉱物産地」に数えられる石川町。その鉱物標本を公開展示し、町民の理解を一層深める。</p> <p>②歴史民俗資料の展示により、先人の生活と町の歴史を概観できるようにする。</p> <p>③上記2点のため、鉱物、歴史民俗資料の調査研究収集を充実する。特に、鉱物については石を活かした町づくりを一層推進するため重点的に取り組む。</p>	
3. 平成29年度の事業実施状況	<p>①企画展「石川町のペグマタイト鉱物、片麻岩」開催 平成29年8月1日～11月5日 892人</p> <p>②講演会「石川町の鉱物の魅力」開催 平成29年8月20日 於：石川小クリスタルホール 83人</p> <p>③学校機関への見学支援（鉱物、歴史、民俗学習） 町内外の小中高5校 274人</p> <p>④鉱物保護収集委員会の開催（年8回開催）</p> <p>⑤鉱物教室の開催（年7回 教室生22名）</p> <p>⑥「資料館便り」の発刊（広報いしかわ誌上に6回、Web版8回）</p> <p>⑦まち歴史子屋（町史学習会）の開催 於：石川町公民館 5回開催 教室生35名</p> <p>⑧石川町史資料目録第14集の発刊 200部</p> <p>⑨中谷古文書を読む会への支援協力（年9回 会員13名）</p> <p>◎入館者数 町内597人、県内1,051人、県外566人 計2,214人 （決算額：9,377千円）</p>	
4. 前年度 平成28年度の状況	<p>①企画展「飯島栄一コレクション」開催 平成28年3月1日～5月8日</p> <p>②企画展「石川の大地教育の母～三森たか子先生93歳の生涯」開催 平成28年8月2日～11月6日</p> <p>③学校機関への見学支援（鉱物、歴史、民俗学習） 町内外の小中高6校</p> <p>④出前授業（鉱物、理科学習）の実施 町内小高2校および自治センター1</p> <p>⑤廃校になった小中学校で所蔵していた鉱物資料の収集と整理</p> <p>⑥県の石選定記念講演会「石川のペグマタイト鉱物」開催 平成28年10月2日 50人</p> <p>⑦鉱物保護収集委員会の開催（年8回開催）</p> <p>⑧鉱物教室の開催（年4回 18名）</p> <p>⑨「資料館便り」の発刊（広報いしかわ誌上に5回、Web版5回）</p> <p>◎入館者数 町内913人、県内823人、県外543人 計2,279人 （決算額：9,095千円）</p>	
5. 事業の効果	<p>①日本地質学会が選定した「県の石」の鉱物部門・岩石部門の2部門に本町が選ばれたことを記念し、企画展「石川町のペグマタイト鉱物、片麻岩」を開催し、町民に全国的に評価された本町産の鉱物・岩石の価値を周知できた。なお、開催期間中892人の来場者があった。</p> <p>②「郷土教育」では、各学年・学校に応じた説明を心がける一方で、展示以外の資料活用もあり、児童・生徒のふるさと石川に対する理解や関心が高まった。また、鉱物教室等の実施や本町産鉱物をテーマとした講演会の実施により、一般町民への理解についても進展が図られた。</p> <p>③入門書として刊行された別巻『ビジュアル石川町の歴史』をテキストとした町史学習会を開催し、本町の歴史を基礎的な部分から分かりやすく学ぶ機会を設けた。1回あたり約76%の出席率と高い水準であり、またアンケートの結果、内容について満足したと答えた教室生が86%を占め、概ね好評であった。</p>	
6. 課題と改善	<p>①常設展は、さらに石川地方の鉱物、稀元素鉱物等、特色ある鉱物の展示が必要であるが、本来的な歴史民俗資料の展示が少ないため、鉱物館の整備が喫緊の課題である。</p> <p>②郷土教育として小中学生に、なお一層、鉱物、歴史民俗資料による教育を実施していく必要がある。</p> <p>③石川町から採集された鉱物の町内所有者の調査や鉱山跡の再調査等を進めていく。</p> <p>④収蔵資料・図書の整理と台帳の整備を確実に行う。</p> <p>⑤収蔵スペースがほとんどないことから、新たな部屋、施設が必要である。</p>	